

編輯室の内外

歳は改まつたが世間は何の變化もない、處が本月の刊行が意外に遅延して申譯がない氣持ちがする、客年十一月號を十月の道路大會に配布する爲め極めて早く刊行したので之からは毎月初めには刊行が出来得ると思つたのも種々の事情で今日に及んだ次第である推察を乞はざるを得ない。八年度で相當仕事を施し得たので其精算やら後仕末などを考量して明九年度の豫算編成に當つて國事業三千三百四十七萬圓府縣事業三千七百七萬圓町村事業に對する補助の三千八百九十五萬圓等合計一億九百四十九萬圓と見積つた内道路費七千五十八萬圓を要求したが之れに對して内閣では總額を四千二百七十三萬圓に削減したので道路關係費額

は二千三百八十萬圓となつた譯である、實に慘憺たる有様である、道路改良の叫聲が農村に高く廣く聞ゆるのに内閣諸公の耳には何とも響かないのかと嘆ぜざるを得い、筆執るのも億劫な思ひがする。

來るべき三五、六年は我國の危機であるから國防第一主義でなければならぬと何處かで叫んでおるが如何なる危険が何故に如何なる方法で起るものか何人も説明して居らない、従つて吾曹の胸中に確的な認識を與へないのである、國際聯盟の脱退の結果が特に三五、六年に發生するものとも考られない、軍縮會議が無力となつた爲めに軍力の競争が世界各國に發生すると豫見して危機來を強調するの、唯危機來をさ

げんで徒らに國民を不安に導くが如きは慎まねばならぬ、我日本國のみ危機來を高調するも世界各國が動かなければ結局は低氣

歴が何時とはなしに解消し行くが如くに危機もまた解消するにあらざるか、吾曹は危機來の真相を探求して眞に危機來の原因と其危機の如何なるものか將又危機の現はるべき方面等を明かにする必要がある、我國獨り危機來を獨占して徒らに外國の嘲笑を買ふべきものでない。(ヒ)

本誌定價 五十錢
一ケ年分 金 六圓

東京市麴町區外櫻田町一番地内務省內
發行所 社團 道路 改良會
 法人 道 路 改 良 會
 東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
 編輯者 小 島 效
 東京市小石川區諏訪町五六
 印刷所 常 馨 印 刷 所
 印刷者 堀 江 關 武